予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款:民生費 項:社会福祉費 目:老人福祉費

事業名 介護事業所等サービス継続支援事業補助金

(地域医療介護総合確保基金(介護分))

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 事業者指導係 電話番号:058-272-1111(内 2601)

E-mail: c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 67,812 千円 (現計予算額:38,300 千円)

<財源内訳>

| | | | 財 | | 源 | 内 | 訳 | | | |
|--------|---------|-----|-----|-----|----|----------------|---------|-----|---|---|
| 区分 | 事業費 | 国 庫 | 分担金 | 使用料 | 財産 | 少 744 人 | 7 0 114 | 旧 生 | _ | 般 |
| | | 支出金 | 負担金 | 手数料 | 収入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 財 | 源 |
| 現計 | | | | | | | | | | |
| 予算額 | 38, 300 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38, 300 | 0 | | 0 |
| 補正 要求額 | 67, 812 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 67, 812 | 0 | | 0 |
| 決定額 | 67, 812 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 67,812 | 0 | | 0 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症が介護サービス事業所等で発生した場合、事業 所等におけるサービス提供体制に重大な影響が発生することが想定される。 介護サービスは、要介護・要支援の高齢者やその家族にとって、生活を支 えるために必要不可欠なものであり、新型コロナウイルス感染症の発生によ る影響は、できる限り小さくしていくことが重要となる。

(2) 事業内容

介護サービス事業所・施設等が、新型コロナウイルス感染症発生の影響下においても、必要な介護サービスを継続して提供できるよう、通常の介護サービスの提供時には想定されない、かかり増し経費等に対して支援を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率:県10/10(事業種別ごとに補助上限額を設定) 県負担:国2/3、県1/3(地域医療介護総合確保基金)

(4)類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|-------------------|
| 補助金 | 67,812 | 介護サービス事業所等に対する補助金 |
| | | |
| 合計 | 67,812 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1)各種計画での位置づけ

(2)国・他県の状況

国が実施する補助事業に基づいて実施。

(3) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス感染症対策として実施する必要があり、県主体が妥当。

| 事 | 業 | 雲平 | 価 | 調 | 書 | (県単独補助金除く) | ۱ |
|---|---|-----------|----|---|---|------------|---|
| Ŧ | ᄍ | | ІШ | ᄱ | | | |

■継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症が発生した場合等においても、介護サービス事業所等におけるサービス提供体制を継続する。

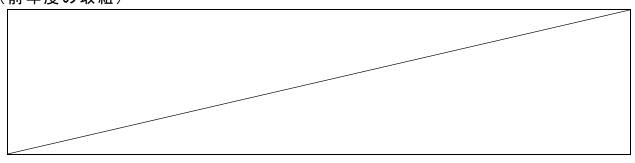
(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業 旨標名 開始前 | |)推移 | 現在値 | 目標 | 達成率 |
|-----|------------------|------|------|------|------|-----|
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |

〇指標を設定することができない場合の理由

感染症対策として実施する事業であり、指標の設定には馴染まない。

(前年度の取組)



(前年度の成果)

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

〇:必要性が高い △:必要性が低い

(評価)

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策事業であり、必要性は

○ 高い。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

〇:概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている

△:まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

O:効率化は図られている △:向上の余地がある

(評価)/

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

感染症拡大防止のため、早急な対応が求められる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今 後どのように取り組むのか

感染症の状況や国の対応などを踏まえ、柔軟に対応していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| 組み合わせ予定のイベント又 | <i>t</i> a 1 |
|---------------|--------------|
| は事業名及び所管課 | /\$ C |
| 組み合わせて実施する理由や | |
| 期待する効果 など | |